hinoko

Japanisch lesen N5: 15 kurze Geschichten mit Fragen

Japanische Geschichten, geschrieben für JLPT N5, mit Furigana, Verständnisfragen, Lösungen und Übersetzungen.

1. Lies jeden Text zuerst ohne Übersetzung. Jedes Kanji hat seine Furigana.
2. Beantworte die Fragen und prüfe sie mit den Lösungen am Ende des Hefts.
3. Lies die Übersetzung zuletzt, um zu sehen, was du verstanden hast.

Kostenlos: Druck es aus und teile es. www.hinoko-japanese.com

Lesetest im JLPT-Format

TEXT 1

マリアさんから ゆうこさんへの メモです。

ゆうこさんへ

あしたの パーティーは 六時(ろくじ)からです。

わたしは 五時(ごじ)に えきの 前(まえ)で まって います。いっしょに 行(い)きましょう。

ケーキは わたしが かいます。ゆうこさんは のみものを かって きて ください。

マリア

1. ゆうこさんは あした 何(なに)を しますか。

1 六時(ろくじ)に えきの 前(まえ)で マリアさんを まちます。

2 ケーキを かって、パーティーに 行(い)きます。

3 のみものを かって、五時(ごじ)に えきの 前(まえ)へ 行(い)きます。

4 マリアさんと いっしょに ケーキを かいます。

TEXT 2

リーさんが 書(か)いた さくぶんです。

わたしは 先月(せんげつ)、日本(にほん)に 来(き)ました。いまは 大学(だいがく)の ちかくの アパートに すんで います。

きのうは 日(にち)よう日(び)でした。あさ、となりの へやの 山下(やました)さんと 川(かわ)の そばを さんぽしました。川(かわ)の 水(みず)は とても きれいでした。

ひるごはんは 山下(やました)さんの へやで 食(た)べました。山下(やました)さんが カレーを つくりました。すこし からかったですが、おいしかったです。

午後(ごご)は 一人(ひとり)で 本(ほん)やへ 行(い)って、日本語(にほんご)の 本(ほん)を 二(に)さつ かいました。こんばんから 毎日(まいにち) すこしずつ 読(よ)みます。

2. リーさんは きのうの 午後(ごご)、何(なに)を しましたか。

1 一人(ひとり)で 本(ほん)を かいに 行(い)きました。

2 山下(やました)さんの へやで カレーを 食(た)べました。

3 山下(やました)さんと さんぽしました。

4 日本語(にほんご)の 本(ほん)を 二(に)さつ 読(よ)みました。

3. 山下(やました)さんの カレーは どうでしたか。

1 あまり からくなかったです。

2 からかったので、食(た)べませんでした。

3 からくなかったですが、あまり おいしくなかったです。

4 すこし からかったですが、おいしかったです。

Geschichten

GESCHICHTE 1

小(ちい)さな 友(とも)だち

Ein kleiner Freund

ひのこは 小(ちい)さくて あおいです。 山(やま)の 上(うえ)の 小(ちい)さい いえに 一人(ひとり)で すんでいます。

ひのこは 本(ほん)が 大(だい)すきです。 毎日(まいにち)、まどの そばで 本(ほん)を 読(よ)みます。

でも、雨(あめ)は きらいです。

今日(きょう)は あさから 雨(あめ)が ふっています。 外(そと)は くらくて、さむいです。

ひのこは いえの 中(なか)で 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

「すみません……」

ドアの 外(そと)に だれか います。 ひのこは ドアを あけます。 小(ちい)さくて 白(しろ)い ねこです。 ねこの からだは とても つめたいです。

ねこは 小(ちい)さい こえで いいます。「さむいです……」

「どうぞ、入(はい)って ください」

ひのこの ちかくは あたたかいです。 ねこは そこで すこし ねます。

それから、ねこは あたたかい おちゃを のみます。

「ありがとう。また 来(き)ても いいですか」「はい、また 来(き)て ください」

ひのこは 雨(あめ)が きらいでした。 でも、今日(きょう)の 雨(あめ)は すこし すきです。

Fragen

1. ひのこは 何(なに)が きらいでしたか。

Was mochte Hinoko nicht?

1 本(ほん)

2 雨(あめ)

3 ねこ

4 おちゃ

2. ドアの 外(そと)に だれが いましたか。

Wer war vor der Tür?

1 白(しろ)い ねこ

2 白(しろ)い いぬ

3 あおい ねこ

4 女(おんな)の子(こ)

3. ねこは ひのこの いえで 何(なに)を しましたか。

Was hat die Katze bei Hinoko gemacht?

1 本(ほん)を 読(よ)みました。

2 山(やま)へ 行(い)きました。

3 雨(あめ)の 中(なか)で あそびました。

4 おちゃを のみました。

GESCHICHTE 2

コンビニの おにぎり

Das Onigiri aus dem Konbini

けんは まいあさ、えきの ちかくの コンビニで おにぎりを 一(ひと)つ
かいます。 今日(きょう)は、おにぎりが あと 一(ひと)つです。
となりで、小(ちい)さい おばあさんも その おにぎりを 見(み)ています。「どうぞ」
けんは おばあさんに おにぎりを わたします。「どうも
ありがとう」 今日(きょう)の あさごはんは パンです。
つぎの あさ、コンビニの やまださんが けんに 小(ちい)さい ふくろを
わたします。「これ、母(はは)からです」 ふくろの 中(なか)には、大(おお)きい
おにぎりが 二(ふた)つと、てがみが あります。「きのうは ありがとう」

Fragen

1. けんの 今日(きょう)の あさごはんは 何(なん)ですか。

Was gibt es heute für Ken zum Frühstück?

1 おにぎり
2 パン
3 おかし
4 ラーメン

2. やまださんの ふくろの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Was ist in Yamada-sans Tüte?

1 大(おお)きい おにぎりと てがみ
2 大(おお)きい パンと てがみ
3 小(ちい)さい おにぎりと パン
4 大(おお)きい おにぎりと パン

3. 小(ちい)さい おばあさんは だれですか。

Wer ist die kleine alte Dame?

1 けんの お母(かあ)さん
2 やまださんの おばあさん
3 やまださんの お母(かあ)さん
4 けんの おばあさん

GESCHICHTE 3

にちようびの 学校(がっこう)

Schule am Sonntag

けんは ベッドで とけいを 見(み)ました。 もう 八時(はちじ)でした！

けんは えきへ はしりました。 でも、けんの めの 前(まえ)で、電車(でんしゃ)の ドアが しまりました。 つぎの 電車(でんしゃ)で 学校(がっこう)へ 行(い)きました。

学校(がっこう)は とても しずかでした。 もんの 上(うえ)に くろい ねこが いました。

「ねこさん、学校(がっこう)は 休(やす)みですか」

けんは スマホを 見(み)ました。 今日(きょう)は にちようびでした！

いえで、けんは あさごはんを たくさん 食(た)べました。 そして、十時(じゅうじ)に また ねました。

Fragen

1. もんの 上(うえ)に 何(なに)が いましたか。

Was war oben auf dem Tor?

1 くろい いぬ

2 くろい ねこ

3 白(しろ)い ねこ

4 白(しろ)い いぬ

2. けんは 学校(がっこう)へ どうやって 行(い)きましたか。

Wie ist Ken zur Schule gekommen?

1 バスで

2 車(くるま)で

3 電車(でんしゃ)で

4 じてんしゃで

3. けんは 何時(なんじ)に また ねましたか。

Um wie viel Uhr hat sich Ken wieder schlafen gelegt?

1 八時(はちじ)

2 十時(じゅうじ)

3 十一時(じゅういちじ)

4 十二時(じゅうにじ)

GESCHICHTE 4

えきの でぐち

Der Bahnhofsausgang

エマは とうきょうの 大(おお)きい えきに いました。 でぐちが たくさん ありました。 でも、北(きた)ぐちは 分(わ)かりませんでした。

となりに 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)が いました。「すみません。北(きた)ぐちは どこですか」 男(おとこ)の子(こ)は 小(ちい)さい こえで いいました。

「分(わ)かりません……。お母(かあ)さんは 北(きた)ぐちに います」

「じゃあ、いっしょに 行(い)きましょう」

東(ひがし)ぐち、西(にし)ぐち、南(みなみ)ぐち……。 そして、北(きた)ぐちに お母(かあ)さんが いました。

男(おとこ)の子(こ)は 大(おお)きい こえで いいました。「おねえさん、北(きた)ぐちは ここですよ！」

Fragen

1. エマは だれに 聞(き)きましたか。

Wen hat Emma nach dem Weg gefragt?

1 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

2 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さん

3 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

4 大(おお)きい 男(おとこ)の子(こ)

2. 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さんは どこに いましたか。

Wo war die Mutter des Jungen?

1 北(きた)ぐち

2 南(みなみ)ぐち

3 東(ひがし)ぐち

4 西(にし)ぐち

3. エマは どこに いましたか。

Wo war Emma?

1 きょうとの 大(おお)きい えき

2 とうきょうの 小(ちい)さい えき

3 きょうとの 小(ちい)さい えき

4 とうきょうの 大(おお)きい えき

GESCHICHTE 5

お父さんの カレー

Papas Curry

にちようびの ばん、お父さんが だいどころに います。 はじめて カレーを つくります。

「いただきます！」 お父さんの カレーは、とても からいです。

お母さんと ゆいは 水を たくさん のみます。

ゆいの おとうとの そらは、まだ 六さいです。 でも、カレーを ぜんぶ 食べます。「おいしい！カレーを もっと ください！」

つぎの にちようび、そらは お父さんに いいます。「また カレーを つくって ください。もっと からい カレーが いい！」 お母さんと ゆいは 大きい コップに 水を 入れます。

Fragen

1. だれが 水を たくさん のみますか。

Wer trinkt viel Wasser?

1 お父さんと そら
2 お父さんと お母さん
3 ゆいと そら
4 お母さんと ゆい

2. そらは 何さいですか。

Wie alt ist Sora?

1 三さい
2 五さい
3 六さい
4 九さい

3. つぎの にちようび、そらは お父さんに 何を いいますか。

Was sagt Sora am nächsten Sonntag zu Papa?

1 「もっと からい カレーが いい」
2 「もっと あまい カレーが いい」
3 「もっと 大きい コップが いい」
4 「もっと つめたい 水が いい」

GESCHICHTE 6

ゆうめいな ラーメン

Berühmte Ramen

休みの日、エマと けんは ゆうめいな ラーメンの みせへ 行きました。

みせの 前には 人が たくさん ならんでいました。 二人も 一時間 ならびました。

でも、ドアの 前で、みせの 人が いいました。「すみません。今日は もう スープが ありません」

エマは となりの 小さくて ふるい みせを 見ました。「あの みせに 入りましょう」

小さい みせには、おきゃくさんが いませんでした。「おいしい！」

けんは 二はい 食べました。

つぎの 休みの日、二人は また 小さい みせへ 行きました。 でも、小さい みせの 前にも 人が たくさん ならんでいました。「また 一時間ですね」

Fragen

1. 二人(ふたり)は ゆうめいな みせの 前(まえ)で 何時間(なんじかん) ならびましたか。

Wie viele Stunden haben die beiden vor dem berühmten Restaurant angestanden?

1 一時間(いちじかん)　　**2** 二時間(にじかん)

3 五時間(ごじかん)　　**4** 十時間(じゅうじかん)

2. 二人(ふたり)は どこで ラーメンを 食(た)べましたか。

Wo haben die beiden Ramen gegessen?

1 ゆうめいな みせで　　**2** 小(ちい)さい みせで

3 えきの 前(まえ)で　　**4** けんの うちで

3. つぎの 休(やす)みの日(ひ)、小(ちい)さい みせの 前(まえ)は どうでしたか。

Wie war es am nächsten freien Tag vor dem kleinen Restaurant?

1 人(ひと)が たくさん いました。　　**2** 人(ひと)が いませんでした。

3 人(ひと)が すこし いました。　　**4** みせが 休(やす)みでした。

GESCHICHTE 7

シロの はな

Shiros Blume

白(しろ)い ねこの シロは、毎日(まいにち) ひのこの いえに 来(き)ます。 今日(きょう)は、シロの くちに はなが あります。 小(ちい)さくて あおい はなです。

シロは ひのこの 前(まえ)に はなを おきます。「どうぞ」

「わあ、きれい！ありがとう、シロ。水(みず)に 入(い)れましょう」

でも、水(みず)は ひのこには あぶないです。 シロが コップに 水(みず)を 入(い)れます。

そして、はなを コップに 入(い)れます。

「シロは あおい はなが すきですか」「はい、大(だい)すきです。ひのこと おなじ いろです」

Fragen

1. シロは ひのこの 前(まえ)に 何(なに)を おきますか。

Was legt Shiro vor Hinoko hin?

1 白(しろ)い はな
2 あおい はな
3 あおい コップ
4 白(しろ)い コップ

2. ひのこには 何(なに)が あぶないですか。

Was ist für Hinoko gefährlich?

1 コップ
2 はな
3 シロ
4 水(みず)

3. シロは どうして あおい はなが 大(だい)すきですか。

Warum liebt Shiro blaue Blumen?

1 ひのこと おなじ いろですから。
2 水(みず)と おなじ いろですから。
3 シロと おなじ いろですから。
4 コップと おなじ いろですから。

GESCHICHTE 8

ねこの きって

Katzenbriefmarken

ゆいは とおい ひろしまの おばあさんに てがみを 書(か)きました。

それから、ゆうびんきょくへ てがみを 出(だ)しに 行(い)きました。

ゆうびんきょくには、ねこの きってと、いぬの きってが ありました。

ゆいは ねこの きってを 十(じゅう)まい かって、ぜんぶ ふうとうに はりました。

ゆうびんきょくの 人(ひと)は その ふうとうを 見(み)て、いいました。「ねこが たくさん いますね」「はい。そぼは ねこが 大(だい)すきですから」

十日(とおか) あとに、ひろしまの おばあさんから てがみが 来(き)ました。

ふうとうには、いぬの きってが 十(じゅう)まい ありました。 ゆいは いぬが 大(だい)すきです。 おばあさんは それを よく しっています。

Fragen

1. おばあさんの てがみは いつ 来(き)ましたか。

Wann ist der Brief der Großmutter angekommen?

1 三日(みっか) あと
2 五日(いつか) あと
3 七日(なのか) あと
4 十日(とおか) あと

2. ゆいは ふうとうに きってを 何(なん)まい はりましたか。

Wie viele Briefmarken hat Yui auf den Umschlag geklebt?

1 一(いち)まい
2 二(に)まい
3 五(ご)まい
4 十(じゅう)まい

3. おばあさんの ふうとうには、何(なん)の きってが ありましたか。

Was für Briefmarken waren auf dem Umschlag der Großmutter?

1 いぬの きって
2 ねこの きって
3 とりの きって
4 はなの きって

GESCHICHTE 9

マリアの え

Marias Zeichnung

ゆいの クラスに、あたらしい せいとが 来(き)ました。

「マリアです。ブラジルから 来(き)ました。よろしく おねがいします」

マリアは しずかで、あまり 話(はな)しませんでした。 ひるごはんも いつも 一人(ひとり)で 食(た)べていました。

えいごの じゅぎょうで、マリアは ノートに えを かいていました。 先生(せんせい)が マリアの つくえの 前(まえ)で とまりました。 ノートには、先生(せんせい)の かおの えが ありました。 クラスの みんなが 先生(せんせい)を 見(み)ていました。

「これは わたしですか」「はい……すみません」 先生(せんせい)は えを よく 見(み)て、いいました。「とても じょうずですね！クラスの みんなの かおも かきませんか」

その ひるやすみ、マリアの つくえの 前(まえ)に、みんなが ならんでいました。

マリアの ひるごはんは、とても にぎやかでした。

Fragen

1. マリアは どこから 来(き)ましたか。

Woher kommt Maria?

1 ベトナム
2 タイ
3 ブラジル
4 フィリピン

2. マリアは ノートに 何(なに)を かいていましたか。

Was zeichnete Maria in ihr Heft?

1 ゆいの かお
2 先生(せんせい)の かお
3 じぶんの かお
4 ねこの かお

3. ひるやすみに、だれが マリアの つくえの 前(まえ)に ならんでいましたか。

Wer stand in der Mittagspause vor Marias Tisch Schlange?

1 ゆい 一人(ひとり)
2 男(おとこ)の子(こ) 二人(ふたり)
3 女(おんな)の子(こ) 二人(ふたり)
4 クラスの みんな

GESCHICHTE 10

うみへ 行(い)く バス

Der Bus zum Meer

けんは はいしゃが きらいです。 今日(きょう)は バスに のって、はいしゃへ 行(い)きます。 でも、それは ちがう バスです。 けんは スマホで ゲームを しています。

「つぎは しゅうてんです」 けんは まどの 外(そと)を 見(み)ます。「……うみ？」

けんは バスを おりて、うみの 前(まえ)に たちます。 うみは あおくて、とても きれいです。 かぜも すずしいです。 けんは しゃしんを とって、お母(かあ)さんに メールします。

すぐに お母(かあ)さんから メールが 来(き)ます。「はいしゃは？」「……あしたに します」

Fragen

1. けんは バスの 中(なか)で 何(なに)を していますか。

Was macht Ken im Bus?

1 おかしを 食(た)べています

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます

3 ゲームを しています

4 しゃしんを とっています

2. けんは だれに メールしますか。

Wem schickt Ken eine Nachricht?

1 お父(とう)さん

2 ゆい

3 お母(かあ)さん

4 はいしゃ

3. けんは いつ はいしゃへ 行(い)きますか。

Wann geht Ken zum Zahnarzt?

1 今日(きょう)

2 あした

3 あさって

4 らいしゅう

GESCHICHTE 11

ポチは どこ？

Wo ist Pochi?

「ポチ！ポチ！」 ゆいが にわで いぬの ポチを よんでいます。

でも、ポチが いません。

お父(とう)さんと お母(かあ)さんも 来(き)て、みんなで さがします。 いっしょに すんでいる おばあさんは かいものに 行(い)っています。 お父(とう)さんは こうえんへ 行(い)って、そらは ベッドの 下(した)を 見(み)ています。 お母(かあ)さんが いいます。「そら、ポチは 大(おお)きいから、そこには いないよ」 そらは ないています。

ゆうがた、おばあさんが かいものから かえります。「ただいま」

おばあさんの 後(うし)ろに、ポチが います！ 「ポチは スーパーまで いっしょに 来(き)て、みせの 前(まえ)で まっていたよ」

その ばん、そらは ポチの そばで ねます。

Fragen

1. お父(とう)さんは どこへ 行(い)きますか。

Wohin geht Papa?

1 スーパー
2 こうえん
3 学校(がっこう)
4 えき

2. ゆうがた、だれが かいものから かえりますか。

Wer kommt am späten Nachmittag vom Einkaufen zurück?

1 お父(とう)さん
2 お母(かあ)さん
3 ゆい
4 おばあさん

3. ポチは どこで まっていましたか。

Wo hat Pochi gewartet?

1 スーパーの 前(まえ)
2 こうえんの 前(まえ)
3 学校(がっこう)の 前(まえ)
4 えきの 前(まえ)

GESCHICHTE 12

えいがかんで

Im Kino

にちようび、けんと エマは えいがを 見(み)に 行(い)きました。

えいがかんで、けんは こわい えいがの チケットを 二(に)まい かいました。

「けんさん、こわい えいがは だいじょうぶですか」

「だいじょうぶ。大(だい)すきだから」

えいがかんの 中(なか)は くらくて、しずかでした。 こわい ところで、エマは となりの けんを 見(み)ました。 けんは めを とじていました。

「けんさん、めを あけて ください」「あけているよ！」 でも、けんは はじめから おわりまで、めを あけませんでした。

えいがの あと、けんは 大(おお)きい こえで いいました。「いい えいがだったね！」「そうですね。けんさんは どこが すきでしたか」

「……らいしゅう、また 見(み)に 行(い)きませんか」

Fragen

1. けんと エマは いつ えいがを 見(み)に 行(い)きましたか。

Wann sind Ken und Emma einen Film ansehen gegangen?

1 どようび

2 にちようび

3 げつようび

4 きんようび

2. けんは えいがかんで 何(なに)を していましたか。

Was machte Ken im Kino?

1 スマホを 見(み)ていました。

2 めを とじていました。

3 本(ほん)を 読(よ)んでいました。

4 えいがを 見(み)ていました。

3. けんは えいがを ぜんぶ 見(み)ましたか。

Hat Ken den ganzen Film gesehen?

1 ぜんぶ 見(み)ました。

2 半分(はんぶん) 見(み)ました。

3 こわい ところだけ 見(み)ませんでした。

4 何(なに)も 見(み)ませんでした。

GESCHICHTE 13

ゆきの ねこ

Die Schneekatze

今日(きょう)は あさから ゆきが ふっています。 ゆきは ひのこには
あぶないですから、ひのこは 外(そと)に 出(で)ません。

シロは 外(そと)で あそんでいます。 ひのこは まどから 外(そと)を 見(み)ます。

「シロ、どこ？」

白(しろ)い ゆきの 中(なか)に、めが 二(ふた)つ あります。 シロの めです。

シロは まどの 前(まえ)で、小(ちい)さい ゆきの ねこを つくって、ひのこに 見(み)せます。

「かわいい！シロと おなじだね」

それから、シロは いえに 入(はい)ります。 シロの あしは とても つめたいです。

ひのこは その あしを あたためます。

「ゆきの ねこも 中(なか)に 入(い)れる？外(そと)は さむいから」「だめ！ここは
あたたかいから」

Fragen

1. シロは 外(そと)で 何(なに)を していますか。

Was macht Shiro draußen?

1 ねています。

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

3 あそんでいます。

4 おちゃを のんでいます。

2. 白(しろ)い ゆきの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

Was ist im weißen Schnee?

1 シロの め

2 ひのこの め

3 小(ちい)さい はな

4 あおい コップ

3. だれが シロの あしを あたためますか。

Wer wärmt Shiros Pfoten?

1 ゆきの ねこ

2 ひのこ

3 シロ

4 ひのこと シロ

GESCHICHTE 14

おなじ かさ

Der gleiche Regenschirm

あさから 雨(あめ)が ふっていました。 エマは コンビニで かさを かって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせに 入(はい)る 前(まえ)に、かさを いりぐちに おきました。 中(なか)で コーヒーを のんで、本(ほん)を 読(よ)みました。

みせを 出(で)る とき、いりぐちには おなじ かさが たくさん ありました。 エマは ちかくに あった かさを とりました。 いえに かえってから、エマは その かさを よく 見(み)ました。 かさには 小(ちい)さい ねこの えが ありました。 エマの かさではありませんでした。

つぎの あさ、エマは その かさを もって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせの 前(まえ)で、高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)が まっていました。「それ、わたしの かさです！これは あなたの かさですか」「はい……たぶん」「コンビニの かさは ぜんぶ おなじですから、えが あった ほうが いいですよ」

それから、二人(ふたり)は 友(とも)だちに なりました。 今(いま)は、エマの かさにも、友(とも)だちが かいた 小(ちい)さい ねこの えが あります。

Fragen

1. エマは かさを どこに おきましたか。

Wo hat Emma ihren Schirm abgestellt?

1 きっさてんの 中(なか)

2 コンビニの いりぐち

3 きっさてんの いりぐち

4 コンビニの 中(なか)

2. エマが とった かさには、何(なん)の えが ありましたか。

Was für ein Bild war auf dem Schirm, den Emma genommen hatte?

1 ねこの え

2 いぬの え

3 とりの え

4 はなの え

3. つぎの あさ、みせの 前(まえ)で だれが まっていましたか。

Wer wartete am nächsten Morgen vor dem Café?

1 高校生(こうこうせい)の 男(おとこ)の子(こ)

2 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

3 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

4 高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)

GESCHICHTE 15

みじかい えんぴつ

Der kurze Bleistift

今日(きょう)は えいごの テストです。 テストの 前(まえ)に、けんは かばんを あけます。

えんぴつが ありません！ 「えんぴつを いえに わすれた……」

となりの ゆいが、けんに とても みじかい えんぴつを かします。

「つぎは、わすれない ほうが いいよ」

テストの とき、けんは えんぴつを 見(み)ます。 えんぴつに ことばが

あります。「がんばって ください」 けんは げんきに なります。

テストが おわってから、けんは ゆいに えんぴつを かえします。

そして、つぎの あさ、あたらしい 長(なが)い えんぴつも わたします。 長(なが)い

えんぴつにも、けんの ことばが あります。「ありがとう。つぎは

わすれないよ」

ゆいは その えんぴつを まだ つかっていません。 その

えんぴつは、今(いま)も 長(なが)いです。

Fragen

1. けんは えんぴつを どこに わすれましたか。

Wo hat Ken seine Bleistifte vergessen?

1 けんの いえ

2 ゆいの いえ

3 学校(がっこう)の つくえ

4 電車(でんしゃ)の 中(なか)

2. みじかい えんぴつには、どんな ことばが ありますか。

Was steht auf dem kurzen Bleistift?

1 がんばって ください

2 つぎは わすれないよ

3 よろしく おねがいします

4 ありがとうございます

3. ゆいは あたらしい 長(なが)い えんぴつを つかっていますか。

Benutzt Yui den neuen, langen Bleistift?

1 はい、毎日(まいにち) つかっています。

2 はい、テストで つかいました。

3 いいえ、けんに かえしました。

4 いいえ、まだ つかっていません。

Lösungen

Lesetest im JLPT-Format
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Geschichte 1 (Ein kleiner Freund)
1. 2 · 2. 1 · 3. 4

Geschichte 2 (Das Onigiri aus dem Konbini)
1. 2 · 2. 1 · 3. 3

Geschichte 3 (Schule am Sonntag)
1. 2 · 2. 3 · 3. 2

Geschichte 4 (Der Bahnhofsausgang)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Geschichte 5 (Papas Curry)
1. 4 · 2. 3 · 3. 1

Geschichte 6 (Berühmte Ramen)
1. 1 · 2. 2 · 3. 1

Geschichte 7 (Shiros Blume)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Geschichte 8 (Katzenbriefmarken)
1. 4 · 2. 4 · 3. 1

Geschichte 9 (Marias Zeichnung)
1. 3 · 2. 2 · 3. 4

Geschichte 10 (Der Bus zum Meer)
1. 3 · 2. 3 · 3. 2

Geschichte 11 (Wo ist Pochi?)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Geschichte 12 (Im Kino)
1. 2 · 2. 2 · 3. 4

Geschichte 13 (Die Schneekatze)
1. 3 · 2. 1 · 3. 2

Geschichte 14 (Der gleiche Regenschirm)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Geschichte 15 (Der kurze Bleistift)
1. 1 · 2. 1 · 3. 4

279 Geschichten von N5 bis N2, mit Audio, Wörterbuch zu jedem Wort und Wiederholung, im Web und in der hinoko-App: www.hinoko-japanese.com

Übersetzungen

Lesetest im JLPT-Format, Text 1

Eine Notiz von Maria an Yuko.

Liebe Yuko,

die Party morgen beginnt um sechs Uhr.

Ich warte um fünf Uhr vor dem Bahnhof. Lass uns zusammen hingehen.

Den Kuchen kaufe ich. Kauf du bitte Getränke und bring sie mit.

Maria

Lesetest im JLPT-Format, Text 2

Ein Aufsatz von Li.

Ich bin letzten Monat nach Japan gekommen. Jetzt wohne ich in einer Wohnung in der Nähe der Universität.

Gestern war Sonntag. Am Morgen bin ich mit Yamashita aus dem Zimmer nebenan am Fluss spazieren gegangen. Das Wasser im Fluss war sehr klar.

Zu Mittag haben wir in Yamashitas Zimmer gegessen. Yamashita hat Curry gekocht. Es war ein bisschen scharf, aber lecker.

Am Nachmittag bin ich allein in eine Buchhandlung gegangen und habe zwei japanische Bücher gekauft. Ab heute Abend lese ich jeden Tag ein bisschen.

Geschichte 1: Ein kleiner Freund

Hinoko ist klein und blau. Sie wohnt allein in einem kleinen Haus oben am Berg.

Hinoko liebt Bücher. Jeden Tag liest sie am Fenster. Aber Regen mag sie nicht.

Heute regnet es seit dem Morgen. Draußen ist es dunkel und kalt. Hinoko liest drinnen im Haus ein Buch.

„Entschuldigung …“

Jemand ist vor der Tür. Hinoko öffnet die Tür. Es ist eine kleine weiße Katze. Der Körper der Katze ist ganz kalt.

Die Katze sagt mit leiser Stimme: „Mir ist kalt …“

„Komm doch herein.“

In Hinokos Nähe ist es schön warm. Die Katze schläft dort ein bisschen. Danach trinkt die Katze warmen Tee.

„Danke. Darf ich wiederkommen?“ „Ja, komm gerne wieder.“

Hinoko mochte Regen nicht. Aber den Regen von heute mag sie ein bisschen.

Geschichte 2: Das Onigiri aus dem Konbini

Jeden Morgen kauft Ken im Konbini in der Nähe des Bahnhofs ein Onigiri. Heute ist nur noch ein Onigiri übrig.

Neben ihm schaut auch eine kleine alte Dame auf dieses Onigiri. „Bitte sehr." Ken reicht der alten Dame das Onigiri. „Vielen Dank." Heute gibt es Brot zum Frühstück.

Am nächsten Morgen reicht Yamada-san vom Konbini Ken eine kleine Tüte. „Das ist von meiner Mutter." In der Tüte sind zwei große Onigiri und ein Brief. „Danke für gestern."

Geschichte 3: Schule am Sonntag

Im Bett schaute Ken auf die Uhr. Es war schon acht Uhr!

Ken rannte zum Bahnhof. Aber direkt vor seinen Augen schlossen sich die Türen des Zuges. Er fuhr mit dem nächsten Zug zur Schule.

Die Schule war sehr still. Oben auf dem Tor saß eine schwarze Katze. „Frau Katze, ist heute schulfrei?"

Ken schaute auf sein Handy. Heute war Sonntag!

Zu Hause aß Ken viel zum Frühstück. Und um zehn Uhr legte er sich wieder schlafen.

Geschichte 4: Der Bahnhofsausgang

Emma war in einem großen Bahnhof in Tokio. Es gab viele Ausgänge. Aber den Nordausgang fand sie nicht.

Neben ihr war ein kleiner Junge. „Entschuldigung, wo ist der Nordausgang?" Der Junge sagte mit leiser Stimme: „Ich weiß nicht … Meine Mama ist am Nordausgang." „Dann gehen wir zusammen hin."

Der Ostausgang, der Westausgang, der Südausgang … Und am Nordausgang war seine Mama.

Der Junge sagte mit lauter Stimme: „Junge Frau, hier ist der Nordausgang!"

Geschichte 5: Papas Curry

Am Sonntagabend ist Papa in der Küche. Er kocht zum ersten Mal Curry.

„Guten Appetit!" Papas Curry ist sehr scharf. Mama und Yui trinken viel Wasser.

Sora, Yuis kleiner Bruder, ist erst sechs. Aber er isst sein ganzes Curry auf. „Lecker! Mehr Curry, bitte!"

Am nächsten Sonntag sagt Sora zu Papa: „Koch bitte wieder Curry. Ich möchte ein noch schärferes Curry!" Mama und Yui füllen große Gläser mit Wasser.

Geschichte 6: Berühmte Ramen

An einem freien Tag gingen Emma und Ken in ein berühmtes Ramen-Restaurant. Vor dem Restaurant standen viele Leute Schlange. Die beiden standen auch eine Stunde lang an.

Aber an der Tür sagte jemand vom Restaurant: „Entschuldigung. Heute gibt es keine Brühe mehr."

Emma schaute auf das kleine, alte Restaurant nebenan. „Lass uns in das Restaurant da gehen."

In dem kleinen Restaurant waren keine Gäste. „Lecker!" Ken aß zwei Schüsseln.

Am nächsten freien Tag gingen die beiden wieder in das kleine Restaurant. Aber auch vor dem kleinen Restaurant standen viele Leute Schlange. „Wieder eine Stunde, oder?"

Geschichte 7: Shiros Blume

Shiro, der weiße Kater, kommt jeden Tag zu Hinokos Haus. Heute hat Shiro eine Blume im Maul. Es ist eine kleine blaue Blume.

Shiro legt die Blume vor Hinoko hin. „Bitte schön."

„Oh, ist die schön! Danke, Shiro. Stellen wir sie ins Wasser."

Aber Wasser ist gefährlich für Hinoko. Shiro füllt Wasser in ein Glas. Dann stellt er die Blume ins Glas.

„Shiro, magst du blaue Blumen?" „Ja, ich liebe sie. Sie haben die gleiche Farbe wie du."

Geschichte 8: Katzenbriefmarken

Yui schrieb ihrer Großmutter im fernen Hiroshima einen Brief. Dann ging sie zur Post, um den Brief abzuschicken. Bei der Post gab es Briefmarken mit Katzen und Briefmarken mit Hunden. Yui kaufte zehn Katzenbriefmarken und klebte sie alle auf den Umschlag.

Der Postangestellte sah sich den Umschlag an und sagte: „Das sind aber viele Katzen!" „Ja. Meine Großmutter liebt Katzen nämlich."

Zehn Tage später kam ein Brief von ihrer Großmutter aus Hiroshima. Auf dem Umschlag waren zehn Briefmarken mit Hunden. Yui liebt Hunde. Ihre Großmutter weiß das genau.

Geschichte 9: Marias Zeichnung

Eine neue Schülerin kam in Yuis Klasse. „Ich bin Maria. Ich komme aus Brasilien. Schön, euch kennenzulernen."

Maria war ruhig und sprach nicht viel. Auch zu Mittag aß sie immer allein.

Im Englischunterricht zeichnete Maria in ihr Heft. Der Lehrer blieb vor Marias Tisch stehen. Im Heft war eine Zeichnung vom Gesicht des Lehrers. Die ganze Klasse schaute den Lehrer an.

„Bin das ich?" „Ja … Entschuldigung." Der Lehrer sah sich die Zeichnung genau an und sagte: „Du zeichnest sehr gut! Willst du nicht auch die Gesichter der ganzen Klasse zeichnen?"

In dieser Mittagspause standen alle vor Marias Tisch Schlange. Marias Mittagessen war sehr lebhaft.

Geschichte 10: Der Bus zum Meer

Ken mag keine Zahnärzte. Heute fährt er mit dem Bus zum Zahnarzt. Aber es ist der falsche Bus. Ken spielt ein Spiel auf seinem Handy.

„Nächster Halt: Endstation." Ken schaut aus dem Fenster. „… Das Meer?"

Ken steigt aus dem Bus und steht vor dem Meer. Das Meer ist blau und sehr schön. Auch der Wind ist angenehm kühl. Ken macht ein Foto und schickt es seiner Mutter.

Sofort kommt eine Nachricht von seiner Mutter. „Und der Zahnarzt?" „… Ich gehe morgen hin."

Geschichte 11: Wo ist Pochi?

„Pochi! Pochi!“ Yui ruft im Garten nach dem Hund Pochi. Aber Pochi ist nicht da.

Papa und Mama kommen auch, und alle suchen zusammen. Oma, die bei ihnen wohnt, ist gerade einkaufen. Papa geht in den Park, und Sora schaut unter dem Bett nach. Mama sagt: „Sora, Pochi ist groß, deshalb ist er nicht da drunter.“ Sora weint.

Am späten Nachmittag kommt Oma vom Einkaufen zurück. „Ich bin wieder da!“ Hinter Oma ist Pochi! „Pochi ist mit mir bis zum Supermarkt gekommen und hat vor dem Laden gewartet.“

An diesem Abend schläft Sora neben Pochi.

Geschichte 12: Im Kino

Am Sonntag gingen Ken und Emma einen Film ansehen. Im Kino kaufte Ken zwei Tickets für einen Gruselfilm. „Ken, sind Gruselfilme für dich okay?“ „Kein Problem. Ich liebe sie!“

Im Kino war es dunkel und still. Bei einer gruseligen Stelle schaute Emma zu Ken neben ihr. Ken hatte die Augen geschlossen. „Ken, mach die Augen auf.“ „Die sind doch offen!“ Aber von Anfang bis Ende öffnete Ken die Augen nicht.

Nach dem Film sagte Ken mit lauter Stimme: „Das war ein guter Film, oder?“ „Ja. Welche Stelle hat dir gefallen, Ken?“ „… Wollen wir ihn uns nächste Woche noch mal ansehen?“

Geschichte 13: Die Schneekatze

Heute schneit es seit dem Morgen. Schnee ist gefährlich für Hinoko, deshalb geht sie nicht hinaus.

Shiro spielt draußen. Hinoko schaut durchs Fenster nach draußen. „Shiro, wo bist du?“

Im weißen Schnee sind zwei Augen. Es sind Shiros Augen.

Vor dem Fenster baut Shiro eine kleine Schneekatze und zeigt sie Hinoko. „Wie süß! Genau wie du!“

Dann kommt Shiro ins Haus. Shiros Pfoten sind sehr kalt. Hinoko wärmt sie auf.

„Holen wir die Schneekatze auch rein? Draußen ist es kalt.“ „Nein! Hier drin ist es warm.“

Geschichte 14: Der gleiche Regenschirm

Seit dem Morgen regnete es. Emma kaufte im Konbini einen Regenschirm und ging in ein Café. Bevor sie hineinging, stellte sie den Schirm am Eingang ab. Drinnen trank sie einen Kaffee und las ein Buch.

Als sie aus dem Café ging, standen am Eingang viele gleiche Schirme. Emma nahm einen Schirm, der in der Nähe stand. Als sie wieder zu Hause war, sah sich Emma den Schirm genau an. Auf den Schirm war eine kleine Katze gemalt. Es war nicht Emmas Schirm.

Am nächsten Morgen ging Emma mit diesem Schirm ins Café. Vor dem Café wartete eine Oberschülerin. „Das ist mein Schirm! Ist das hier Ihr Schirm?“ „Ja … wahrscheinlich.“ „Die Schirme aus dem Konbini sind alle gleich, deshalb ist es besser, wenn ein Bild darauf ist.“

Danach wurden die beiden Freundinnen. Jetzt ist auch auf Emmas Schirm eine kleine Katze, die ihre Freundin gemalt hat.

Geschichte 15: Der kurze Bleistift

Heute ist der Englischtest. Vor dem Test öffnet Ken seine Tasche. Da sind keine Bleistifte! „Ich habe meine Bleistifte zu Hause vergessen …“

Yui, die neben ihm sitzt, leiht Ken einen sehr kurzen Bleistift. „Nächstes Mal vergisst du sie besser nicht.“

Während des Tests schaut Ken auf den Bleistift. Auf dem Bleistift stehen Worte. „Gib dein Bestes!“ Ken bekommt neuen Mut.

Nach dem Test gibt Ken Yui den Bleistift zurück. Und am nächsten Morgen gibt er ihr auch einen neuen, langen Bleistift. Auch auf dem langen Bleistift stehen Worte von Ken. „Danke. Nächstes Mal vergesse ich sie nicht.“

Yui hat diesen Bleistift noch nicht benutzt. Der Bleistift ist immer noch lang.